

目指せ1等賞

幼稚園・小学校・中学校で運動会^{5/29・6/7・15}



まだまだ元気いっぱい!!

高齢者元気100倍!教室^{5/29・6/24}



▲楽しく体操を行う参加者たち



▲男性も楽しく調理を行いました

5月29日(木)健康福祉総合センターで「高齢者元気100倍!教室」の開講式が行われました。

この日は介護予防をテーマに教室が開催され、「認知症サポーター養成講座」では認知症になる原因や認知症の方への接し方などについて、保健福祉課の上林地域包括担当員から説明がありました。

講座の終了後に松野健康運動指導士が指先を使ったじゃんけんゲームやお手玉や数字を使った体操を行い、参加者は笑顔で取り組んでいました。

また、6月24日(火)には食生活改善協議会(岡田久恵会長)のメンバーと一緒に簡単バランスメニューに挑戦し、高野豆腐の唐揚げや生姜風味のお吸い物などを調理し、その後は皆さんで食事を楽しみました。

7月以降も元気100倍!教室が開催されますので、興味のある方は保健福祉課保険グループ(Tel 35-2120)までお問い合わせください。

楽しく遊びました

第3回こどもフェスタ開催^{6/1}



▲工作を楽しんだ子どもたち

6月1日(日)沼田小学校でキッズクラブ・ぴよぴよクラブ合同事業のこどもフェスタが開催され親子連れ約150名がマジックショーや段ボール迷路などを楽しみました。

会場となった小学校の体育館では段ボールの巨大迷路や、新聞紙のプールで遊んだり、手作りのおもちゃを作ったり、昔遊び体験でけん玉や、お手玉、竹馬に挑戦していました。

また、ステージでは北大奇術研究会の学生によるマジックの披露がありました。ショーの最後には藤森校長先生が研究会の指導を受けてマジックを披露し、集まった子供たちは真剣な表情で楽しんでいました。

命の大切さを学んで

人権の花運動^{6/3}



▲花を定植する児童たち

6月3日(火)人権擁護の啓蒙を目的とした「人権の花運動」が沼田小学校(藤森正男校長)で擁護委員3名が参加した中で行われました。

体育館に集まった3年生から6年生までの児童に人権擁護委員の横山哲雄さんから「多くの人に人権擁護の活動を知ってもらうための活動を行っています。お花の世話を通じて優しい心、命の大切さを学んでほしい。」と花の種がプレゼントされました。

また、会場に人権イメージキャラクターの「人KENあゆみちゃん」が登場すると、児童たちは近くによって楽しそうにふれあっていました。

事故のない通学路を 通学路の安全点検^{6/} 13



▲町内を歩きながら確認しました

6月13日（金）自治振興協議会（石田隆広会長）主催による通学路の安全点検が行われました。沼田警察署や交通安全協会、防犯協会、道路管理者のほか教育関係者や児童会、生徒会の役員らが参加しました。

点検に先立ち、石田自治振興協議会長から「道外で子どもが被害に遭う事件が報道されていて、沼田町も決して他人事ではない。子ども達を守るために交通安全や防犯などの視点に立った安全マップを作りたい。」と挨拶がありました。

参加者は通学路を歩きながら、「ここの角は角度によって車が見えにくい。」「ここに横断歩道があるといい。」などと話をしながら、点検を行っていました。

美味しく育て 小学4年生がメロンを定植体験^{6/} 13



▲農天氣の会から指導を受ける児童たち

6月13日（金）更新地区の辻農場内において、沼田小学校4年生がメロン定植の体験学習が行われました。

この学習は町内の農家女性により結成された「農天氣の会（藤村富士子代表）」が主催し、子どもたちに農業の良さや、食べ物の作られる過程、食べ物を大切にすることで、生き物へのやさしい心を養ってもらうことを目的に毎年実施しています。この日は、秋の収穫作業に向けての苗の定植作業を行いました。

小学生たちは農天氣の会の会員の指導を受けながら、1本ずつ丁寧に植込んでいました。

また、定植後には質問タイムが設けられ、「メロンは植えてからどれくらい経てば実がなるの？」「ミツバチはどのような働きをするの？」といった質問が飛び交い、興味深そうに話を聴いていました。

楽しみながら水と親しみました 水なれ教室が開催^{6/} 16～20



▲楽しみながら水に慣れていました

6月16日から5日間、教育委員会が主催の水なれ教室が開催されました。

水なれ教室は4歳から幼稚園児までを対象に行われ18名の子どもたちが参加しました。

子どもたちは、2名のアクア・インストラクターの指導で、水中ゲームを通じて顔を水につける練習を楽しそうに行っていました。

子どもたちの安全・安心のために 沼田保育園が応急手当協力事業所に認定^{6/} 18



▲認定看板を受け取る土肥園長

沼田保育園（土肥芳子園長）が応急手当協力事業所に認定され、6月18日（水）に深川地区消防組合沼田支署から認定看板が渡されました。

応急手当事業所とは、疾病者の救護と救命率の向上を図ることを目的に、深川地区消防組合で実施しているもので、事業所に勤務する2割の従業員が応急手当の講習などを受講することが条件となっています。

沼田保育園では従業員14名全員が講習を受講し今回、町内では9番目となる認定を受けました。

新たに仲間入り 地域おこし協力隊に委嘱状交付^{6/} 9



▲新たに仲間入りした高木竜介さん

6月9日（月）に新規採用の地域おこし協力隊員へ委嘱状の交付が行われました。

地域おこし協力隊とは、平成21年に総務省で制度化され、地方自治体が公募を行い、地域おこしや地方での起業などに興味のある都市部の住民を受け入れて、町が委嘱した隊員のことを指します。

委嘱された隊員は、地域おこし活動の支援や農林漁業の応援、住民の生活支援など「地域協力活動」に従事し、併せてその定住・定着を含めて地域活性化を目指します。

4人目となる委嘱を受けた高木竜介さんは、福岡県出身で現在は観光協会の特産品の販売や、夜高あんどん祭りのPR業務を行っています。

綺麗な花のプレゼント 日本緑化中村（株）がボランティア活動^{6/} 11・19



6月11日（水）日本緑化中村（株）（中村剛代表取締役）が、沼田町就業支援センターの花壇に花を植えるボランティア活動を実施しました。

同社は支援センターが開所した当初から草刈などの美化活動をボランティアで行っており、近年は花壇への花の定植活動を実施しています。

この日は同社が自社のビニールハウスで栽培した花を約200株持ち込んで寮生たちと一緒に小雨の降る中花の定植を行いました。

また、6月19日（木）には、町民パークゴルフ場に花を植えたプランター70個を寄贈しました。

毎年恒例となったこの活動は、今年で5回目を数えます。プランターはクラブハウス前に設置され、パークゴルフ場に綺麗な彩りを添えていました。



▲寮生と行った定植活動とPG場のプランター

音楽もビールも楽しめた 商工会女性部・青年部チャリティービールパーティ^{6/} 13



▲吹ガールズによる演奏



6月13日（金）商工会女性部青年部共催の「チャリティービールパーティー」が町民会館で行われました。

当日は、吹ガールズによる演奏が行われ、氣志團の「ワンナイトカーニバル」や「ヤングマン」また「アンパンマンのマーチ」

など大人から子供まで楽しめる楽曲を演奏し来場者は大いに盛り上がっていました。

その他にビンゴ大会やガソリン200㍓などの景品が当たる抽選会などが行われ、訪れたおよそ400名のお客さんは集まった仲間と楽しく談笑していました。

環境美化のために

沼田長生クラブが花の定植ボランティア^{6/}18



▲作業を行った長生クラブ会員や改良区の職員

6月18日(水)、沼田長生クラブ(野道夫会長)が沼田厚生クリニックの裏手にある沼田第2幹線用水路に花の定植ボランティアを行いました。

この日ボランティアに集まったのは、長生クラブメンバーのほか、用水路を管理する沼田町土地改良区の職員、さらに改良区のOBも駆け付け作業を行いました。

植えられた花は、マリーゴールドやペチュニアなどの色とり取りな約1,200本です。用水路はきれいな花で彩られ、作業を終えた参加者たちは充実した表情で花を眺めていました。

綺麗に育って

中学生ボランティアが花の定植^{6/}20



▲花の定植をする中学生ボランティア

6月20日(金)開拓120年を記念した花の植栽が、生涯学習センター前で行われました。

この植栽は、自治振興協議会(石田隆広会長)のグリーンルーラル事業の一環として行われたもので、植栽を前に野々宮副会長が「沼田町が開拓されて120年、将来を担う皆さんと協力してまちをきれいにする観点から行うものです。」と挨拶。作業には協議会役員のほか沼田中学校の吹奏楽部を中心としたボランティア22名のほか先生方も参加し、ペチュニアやマリーゴールドなど約1,000本の花々を使って「-120-未来へ!」の文字を描きました。

佛子園理事長を招いて

第3回これから塾^{6/}23



▲雄谷氏を囲んでのディスカッション

6月23日(月)「まちのこれからをみんなで考える」「町民みんなで勉強し、話し合い、計画をつくり、住み続けられるまちを実現する」をテーマとした第3回目の沼田町これから塾が開催され約70名が参加しました。

「人を集め交流を生む、福祉・店舗・住居のまちづくり」をテーマとして、社会福祉法人佛子園理事長の雄谷良成氏を講師に招き、廃寺を改修して温泉やカフェスペースなどの建物の再構築や、高齢者、障害を持った人と人とのつながりなどについてレクチャーが行われました。

その後ディスカッションでは建物の設計や近隣の世帯が増えた理由やきっかけなどについて、雄谷氏を中心に活発な意見交換が行われました。

表彰

各種団体や町内企業の皆さんが各種方面での活躍に対して、表彰されましたのでお知らせいたします。

これからも交通事故死ゼロを目標に

沼田地区安全協会連合会が表彰



▲金平町長に報告を行った山田会長

沼田地区交通安全協会連合会(山田英次会長)が旭川方面交通安全協会から年間死亡事故ゼロ功勞の表彰を受けました。

6月11日(水)受賞報告に訪れた山田会長は「沼田町は街の中央部を国道が貫いており、町民だけでなく通過車両等町外の人にも交通安全を呼びかけたい」と金平町長に報告し、継続した交通安全運動についてもお話しがありました。